

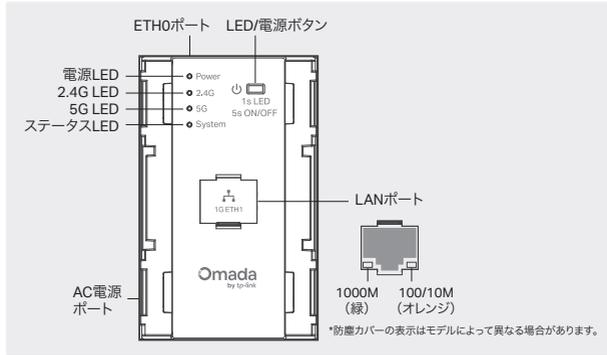
かんたん設定ガイド

コンセント埋め込み型アクセスポイント

注:本ガイドでは、EAP720-WE-ACを例として使用しています。画像は実際の製品と異なる場合があります。

©2025 TP-Link 7100002474 REV1.20.1

1 外観



LEDの表示と内容

電源 (Power) LED

- 点灯: 電源オン
- 点滅: 初期化中
- 消灯: 電源オフ/LED表示オフ

2.4G LED/5G LED

- 点灯: 2.4GHz/5GHz Wi-Fiオン
- 点滅: 2.4GHz/5GHz Wi-Fiでデータ受信信中
- 消灯: 2.4GHz/5GHz Wi-Fiオフ

ステータス (System) LED

- 白点灯: 正常に動作中
- 赤点灯: 問題発生中
- 1秒に1回点滅: EAPのファームウェア更新中
- 高速点滅: EAPの初期化中 or Omadaコントローラーがデバイスを検索中*

*Omadaコントローラーで検索機能が有効な場合、デバイスを特定しやすいようにEAPのLED 10分間高速点滅します。この機能を手動で無効にしてLEDの点滅を停止させることも可能です。

- 点滅 (連続): EAPが分離状態

LANポートのLED

- 緑点灯: 1000Mbpsで動作しています。(アクティビティなし)
- 緑点滅: 1000Mbpsで動作し、データを送受信しています。
- オレンジ点灯: 100/10Mbpsで動作しています。(アクティビティなし)
- オレンジ点滅: 100/10Mbpsで動作し、データを送受信しています。
- 消灯: 対応するポートにデバイスが接続されていません。

各部の名称とはたらき

LED/電源ボタン

LEDボタンを1秒間押すとLEDのオン/オフが切り替わります。LEDボタンを5秒間押すとデバイスのオン/オフが切り替わります。デバイスの電源が入っている状態で、LEDが点滅するまでボタンを20秒ほど長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

LANポート

クライアント端末に接続してデータ伝送を行います。

ETH0ポート

ゲートウェイルーターまたはスイッチに接続してデータ伝送を行います。

AC電源ポート

電源ケーブルを繋いでEAPに給電します。

2 取り付ける前に

取り付ける前に、次のアイテムがそろっているかご確認ください:

- 既設のジャンクションボックス (電源ケーブルおよびLANケーブル付き)
- プラスドライバー
- ワイヤーストリッパー

取り付け時の注意事項

- 放熱スペースを十分に確保できる場所および環境に設置してください。
- 本製品および取り付け用キットの重量を支えるのに十分な強度がある場所に設置してください。
- 本製品を取り付ける際は、設置場所に十分なスペースがあるか確認してください。また、放熱を妨げることがないように、EAPの前後左右から一定の間隔を空けるようにして設置してください。

安全にご使用いただくために

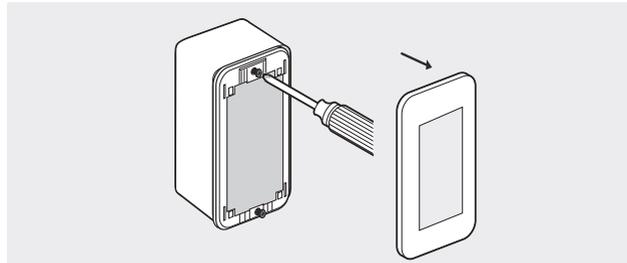
- 製品を火気・水・湿気・高温から遠ざけてください。
- 本製品を分解・修理・改造しないでください。修理が必要な場合は、弊社までご連絡ください。
- 無線機器の利用制限がある場所で製品を使用しないでください。

3 取り付け方法



- 製品の取り付け等は専門の知識・資格を持った人が行ってください。
- 建物の電気設備には、IEC 62368-1 Annex Lに準拠した全極主電源スイッチを組み込む必要があります。また、スイッチの接点間隔は3mm以上にしてください。

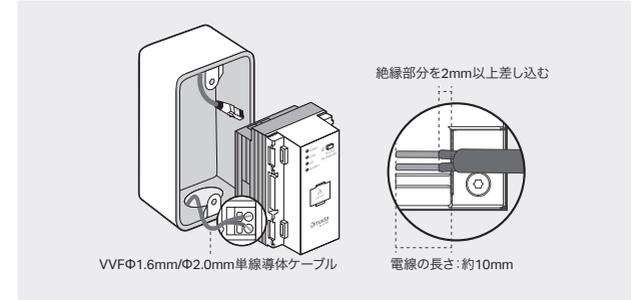
- プレートを取り外します。取り付け枠がある場合は取り付け枠も取り外します。



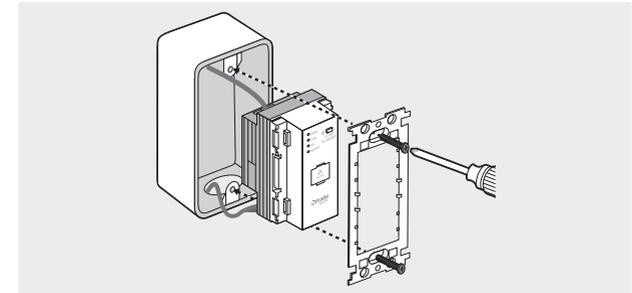
- LANケーブルをETH0ポートに接続します。ワイヤーストリッパーで電源ケーブルのゴム被覆を剥ぎ取ってから、本製品の電源ポートに繋ぎます。

注:

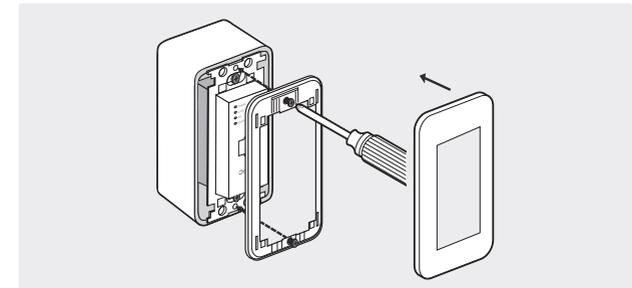
- 接続にはVVFFΦ1.6mm/Φ2.0mm単線導体ケーブルをご使用ください!
- 電源ポート背面のガイドを参考に、電源ケーブルのゴム被覆を剥ぎ取ることができます。
- 端子に絶縁部分を2mm以上差し込みます。導体部分が見えないようにしてください。(下図参照)



- EAPの上に取り付け用キット (付属していません) を合わせ、ジャンクションボックスにネジで固定します。



- 取り付け枠をジャンクションボックスにネジで固定してから、プレートをめめ込めば完了です。



4 セットアップ

●方法1: スタンドアロンモード

個別にEAPの設定および管理を行います。(数台のデバイスを使用した小規模ネットワークにおすすめ)

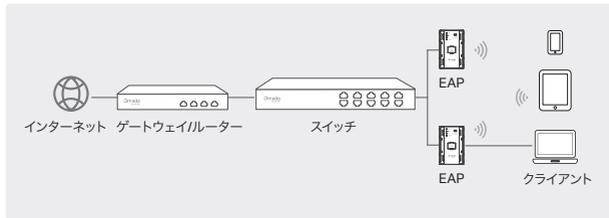
●方法2: コントローラーモード

Omadaコントローラーを使用してEAPの一括設定および集中管理を行います。

方法1: スタンドアロンモード

スタンドアロンEAPは、ブリッジ (AP) モードまたはルーターモードで動作します。環境に応じて動作モードを選択できます。初期設定ではブリッジ (AP) モードになっています。

●タイプ1: APモード



- 注:
- 設定を行う前に、各デバイスに電源が入った状態で、上図の様に接続されているか確認してください。
 - DHCPサーバー (DHCP機能を有効にしたゲートウェイ/ルーター等) を使用してLAN内でEAPおよびクライアントにIPアドレスを割り当てる必要があります。

Omadaアプリ

- QRコードをスキャンするか、App StoreまたはGoogle PlayからOmadaアプリをダウンロードします。



- 製品ラベルに記載されている初期SSIDを使用して、モバイルデバイスとEAPを接続します。
- Omadaアプリを開き、**スタンドアロンモード**の画面に進み、EAPが表示されるのを待ちます。表示されたEAPをタップして設定します。

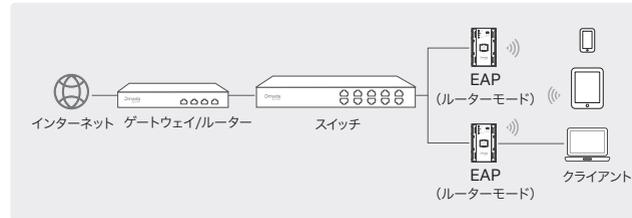
Omadaアプリは、一般的な設定をすばやく設定できるように設計されています。詳細設定を行いたい場合は、EAPのWeb管理画面から設定するか、コントローラーモードを使用してください。

Web管理画面

- 製品ラベルに記載されている初期SSIDを使用して、デバイスとEAPを接続します。
- Webブラウザを開き、<https://omadaeap.net>にアクセスします。
- ユーザー名およびパスワードを作成し、セキュリティを強化します。
- ブリッジ (AP) モード**を選択し、画面の指示に沿ってEAPを設定します。

他のEAPを設定する場合は、デバイスをEAPごとの初期SSIDに接続し、上記と同じ手順に沿って設定してください。基本的な機能はスタンドアロンモードで設定できますが、高度な機能を設定したい場合は、コントローラーモードを使用してください。

●タイプ2: ルーターモード



注:

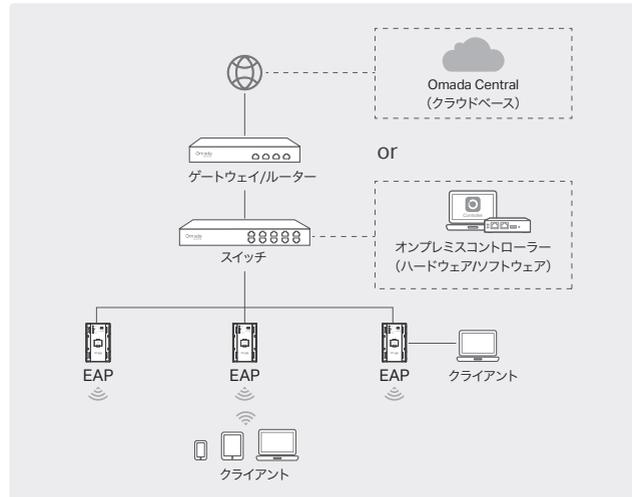
- 設定を行う前に、各デバイスに電源が入った状態で、上図の様に接続されているか確認してください。
- EAPがルーターモードで動作している場合、OmadaアプリやOmadaコントローラーでは管理できません。

Web管理画面

- 製品ラベルに記載されている初期SSIDを使用して、デバイスとEAPを接続します。
- Webブラウザを開き、<https://omadaeap.net>にアクセスします。
- ユーザー名およびパスワードを作成し、セキュリティを強化します。
- ルーターモード**を選択し、画面の指示に沿ってEAPを設定します。

方法2: コントローラーモード

Omadaコントローラーでは、Omada対応のゲートウェイ/ルーター・スイッチ・アクセスポイント等を統合した集中管理が可能です。



注:

- DHCPサーバー (DHCP機能を有効にしたゲートウェイ/ルーター等) を使用してLAN内でEAPおよびクライアントにIPアドレスを割り当てる必要があります。
- Omadaコントローラーを使用する場合は、Omadaデバイス (ゲートウェイ/ルーター・スイッチ・EAP等) を検出・導入・管理するために、デバイスへのネットワークアクセスが必要です。

Web管理画面

- Omadaコントローラーを用意します。
 - パターン1: Omadaハードウェアコントローラーの場合**
ハードウェアコントローラーを入手し、設定ガイドを参照してセットアップします。
 - パターン2: Omadaソフトウェアコントローラー (Omadaネットワークアプリケーション) の場合**
WindowsまたはLinuxOSを搭載したPCで <https://support.omadanetworks.com/download/software/omada-controller/> からソフトウェアコントローラーをダウンロードします。ダウンロードしたファイルを実行し、セットアップウィザードに沿ってコントローラーを設定します。
注: デバイスを管理するには、ソフトウェアコントローラーがPC上で動作し続ける必要があります。
 - パターン3: Omadaクラウドベースコントローラー (Omada Central) の場合**
Omadaポータル (<https://omada.tplinkcloud.com>) にTP-Link IDでログインし、クラウドベースコントローラーの追加・設定を行います。
- コントローラーを起動してサイトにアクセスし、**デバイス画面**に進みます。
 - EAPの設定および管理が可能です。

ヒント:

Omadaハードウェア/ソフトウェアコントローラーでは、クラウドアクセスを有効にし、TP-Link IDを紐付けすることでOmadaポータルからコントローラーやOmadaデバイスにリモートでアクセス・管理することができます。詳細な設定方法は、HPのコントローラーユーザーガイドをご参照ください: <https://support.omadanetworks.com/product/>

Omadaアプリ

- QRコードをスキャンするか、App StoreまたはGoogle PlayからOmadaアプリをダウンロードします。



- ローカルアクセスまたはクラウドアクセスからコントローラーを追加します。

- パターン1: ローカルアクセス**
注: ローカルアクセスは、オンプレミスのハードウェア/ソフトウェアコントローラーに適用されます。
 - 製品ラベルに記載されている初期SSIDを使用して、モバイルデバイスとEAPを接続します。
 - Omadaアプリを起動し、**コントローラーモード画面**に進みます。右上の+ボタンをタップしてコントローラーを追加します。
 - パターン2: クラウドアクセス**
 - Omadaアプリを起動し、TP-Link IDでログインします。
 - コントローラーモード画面**に進みます。TP-Link IDに紐付けられたコントローラーのリストが表示されます。
- コントローラーを起動してサイトにアクセスし、**デバイス画面**に進みます。
 - EAPの設定および管理が可能です。

Omadaアプリは、一般的な設定をすばやく設定できるように設計されています。詳細設定を行いたい場合は、コントローラーのWeb管理画面から設定してください。

詳細な設定方法は<https://support.omadanetworks.com/product/>から各コントローラーやEAPのユーザーガイドをご確認ください:

TP-Link Communityに参加すると、問題解決に向けてTP-Linkのユーザーやエンジニアと情報交換を行うことができます:

カスタマーサポートやユーザーガイド等その他情報は下記URLにアクセスするか、QRコードをスキャンしてご確認ください: <https://support.omadanetworks.com/>

